

YUJI ONO

攻守で攻撃的なスタイルを貫き、

G大阪を相手に

サガン鳥栖の  
実力を  
示せ!

MF 5 So KAWAHARA  
河原 創



MF 10 Yuji ONO  
小野 裕二

前節、アウェイでの鹿島戦に1-2で敗れ、J1リーグ戦は4試合未勝利となった。だが、試合後に川井健太監督が「失点の場面も誰かが何かをサポートしたわけではないですし、スキができたともあまり思っていない。攻撃の部分でいうと表現したいことが後半で特に出せた試合かなと思います」と振り返った。勝利していないからといって内容が悪いわけではない。今季積み上げてきたものは確実にチームの力となっている。だからこそ、鳥栖のスタイルを信じて貫きだした。

今節の相手となるG大阪はシーズン序盤の不調から脱し、第15節以降は8勝1分1敗と好調で11位まで上がってきた。4-1-2-3のフォーメーションは変わらないが、アバウトに長いボールを蹴る時とパスをつなぐ時の判断が洗練された。攻撃の中心は7得点でチーム得点王のMFファン・アラノや、6得点のMFダウンなどの外国籍選手。他にもFW宇佐美貴史などの実力者が揃う。鳥栖としては、この強力な攻撃陣を止めたい。

中盤で攻守の要となっているMF河原創は、「1人はプレッシャーをかけて、他はカバーする。1人で守ることは無理なので、全員で話しながらスペースを埋めたり、人に付いたりというところはしっかりやっていきたい」と話した。最前線でチームを牽引するMF小野裕二は古巣戦の前に、「G大阪ではなかなか長い時間プレーできなかったので、単純に選手としてG大阪サポーターの前でプレーすることは非常に幸せだし、プレーをしっかり見ていただければと思う」と話した。さらに「一番は鳥栖が勝点3を取ることで、その中で僕が得点を取ることで勝つ可能性が上がると思うし、そこにしっかりと向き合ってやらなければいけない」と力を込めた。

ここ数試合、勝利にこそ恵まれていないが、鳥栖が目指している方向は間違っていない。今こそ、チームを、選手を信じて応援してほしい。チーム、サポーター、一丸となって戦い、好調なG大阪から勝点3を奪おう。



チケットの  
購入はコチラ

NEXT HOME GAME

VS サンフレッチェ広島

2023明治安田生命J1リーグ  
第26節  
@駅前不動産スタジアム

9.2 [土] 19:00 KICK OFF



©1992 SANFRESCCE HIROSHIMA CORPORATION

NEXT AWAY GAME

VS 横浜F・マリノス

2023明治安田生命J1リーグ 第27節  
@ニッパツ三ツ沢球技場

9.15 [金] 19:00 KICK OFF



©1992 Y.MARINOS